

イエジー・スコリモフスキ監督(監修)から
日本の皆さまへ

昨年記念すべき10周年を迎えたポーランド映画祭、新しい章の始まりです。
今年も素晴らしい作品の数々をご覧いただけること、大変嬉しく思います。
またカンヌ国際映画祭の審査員賞を受賞した私の新作『EO』が、初めて日本の
皆様にお披露目できること、非常に光栄です。他にも何年たっても色あせない
傑作から、今まさに生まれたばかりの意欲作まで多種多様な作品が揃いました。
ぜひご堪能ください。来年こそはお会いできるのを楽しみにしております。

イエジー・スコリモフスキ




Photo by Maciej Komorowski

FESTIWAL
FILMÓW
POLSKICH
2022



ポーランド映画祭 2022

2022. 11.22 [火] ▶ 11.27 [日]

11/22(火)	10:40 ★ ショパン 暗闇に囚われることなく	13:00 ★ ポルミッション パスポートの秘密	15:00 ★ 赤い闇 スターリンの冷たい大地で	18:30 ドラキュラ
11/23(水) 祝	10:30 ★ パン・タデウシュ 物語	14:00 ドラキュラ	17:00 パンと塩	19:10 愛についての歌
11/24(木)	11:00 ポルミッション パスポートの秘密	13:00 コルチャック先生	16:00 赤い闇 スターリンの冷たい大地で	18:30 ドラキュラ
11/25(金)	10:30 ドラキュラ	13:15 パン・タデウシュ 物語	16:30 コルチャック先生	19:00 パンと塩
11/26(土)	11:00 ショパン 暗闇に囚われることなく	13:30 EO(原題)	15:30 イレブ・ミニッツ	18:00 ドラキュラ
11/27(日)	10:30 赤い闇 スターリンの冷たい大地で	13:00 パンと塩	15:20 愛についての歌	17:30 パン・タデウシュ 物語

舞台挨拶・トークイベント!

★11/22(火) 10:40
『ショパン 暗闇に囚われることなく』
●上映前:ポーランド映画祭開幕挨拶
ウルシュラ・オスミツカさん
(ポーランド広報文化センター所長)
●上映後トーク
本作プロデューサー登壇予定

★11/22(火) 13:00
『ポルミッション パスポートの秘密』
●上映後解説トーク
杉浦綾さん
(ポーランド広報文化センター)

★11/22(火) 15:00
『赤い闇 スターリンの冷たい大地で』
●上映後解説トーク
久山宏一さん
(ポーランド広報文化センター)

★11/23(水・祝) 10:30
『パン・タデウシュ物語』
●上映後解説トーク
久山宏一さん
(ポーランド広報文化センター)

※トークイベントは登壇者の都合により中止になることもございますので、予めご了承ください。

ポーランド
映画祭 2022

当日料金:一般1,500円/シニア1,100円

大学生以下・障害者手帳をお持ちの方1,000円

●午前10時より1F受付にて各回の受付を開始致します。●ご購入されたチケットの変更・取り消しはできません。●ホール及び美術館内でのご飲食はご遠慮ください。
※事業は諸般の事情により変更することがございます。最新情報は当館ホームページでご確認ください。



恵比寿ガーデンプレイス内 東京都写真美術館ホール
TEL. 03-3280-0099 (代表) www.topmuseum.jp
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分

2022. 11.22 [火] ▶ 27 [日] 東京都写真美術館ホール

監修:イエジー・スコリモフスキ

主催:CULTURE.PL/ポーランド広報文化センター/スコピヤフィルム/マーメイドフィルム/VALERIA
後援:駐日ポーランド共和国大使館
配給:マーメイドフィルム/コピアポア・フィルム 宣伝:VALERIA www.polandfilmfes.com



ポーランド映画祭 2022

毎年多くの方にお越しいただいているポーランド映画祭。コロナ禍や隣国ウクライナの戦火といった未曾有の災いに翻弄され続ける中、11回目となる本年も無事開催される運びとなりました。5月には本映画祭の監修を務めるイエジー・スコリモフスキ監督の最新作『EO』がカンヌ国際映画祭審査員賞を受賞、さらには多くの若い監督たちの作品が世界の映画祭で好評を博すなど、ポーランド映画はかつてないほど注目を集めています。今回はポーランドを代表する作曲家ヴォイチェフ・キラル生誕90年を祝う特集や、39歳の新鋭ダミアン・コツル監督の最新作など、バラエティに富んだラインナップで皆様をお迎えます。ぜひお楽しみください。

ポーリッシュ・シネマ・ナウ!

イエジー・スコリモフスキ監督の最新作!

ジャパンプレミア **EO** (原題) EO

監督: イエジー・スコリモフスキ
2022年 / ポーランド語・イタリア語・英語・フランス語
88分 / カラー / 配給: ファインフィルムズ

© 2022 Skopia Film, Alien Films, Warmia-Mazuria Film Fund/Centre for Education and Cultural Initiatives in Olsztyn, Podkarpackie Regional Film Fund, Strefa Kultury Wrocław, Poland, Moderator Inwestycje, Yello ALL RIGHTS RESERVED



今年のカンヌ国際映画祭で審査員賞を受賞したイエジー・スコリモフスキ監督最新作の主演は、なんとロバ。動物活動家のグループによってサーカス団から連れ去られたEO(イオ)は、その後も人間に仕え続け、様々な冒険を経験していく。いったい“彼”には世界はどう見えるのだろうか……。ロベール・ブレッソン監督の『バルタザールどこへ行く』にオマージュを捧げ、独特の視点から混沌とした人間社会を描くスコリモフスキの集大成とも言える傑作。

11/26 ㊦ 13:30

ジャパンプレミア **パンと塩** Chleb i sól

監督: ダミアン・コツル
2022年 / ポーランド語 / 99分 / カラー



夏休みを家族と過ごすため、故郷に帰ってきたショパン音楽大学の学生ティメック。友人たちと再会を喜んだのもつかの間、地元の若者が集まるケバブ屋でアラブ系の従業員との間に諍いが起き、やがて悲劇的な出来事に発展してしまう。小さな町で起こった実話をもとに、プロではない俳優を起用して制作された問題作。監督は短編で数々の賞を受賞、本作が長編処女作となったダミアン・コツル。第79回ヴェネチア国際映画祭オリゾンティ・コンペティション部門出品作。

11/23 ㊦ 17:00 11/25 ㊦ 19:00 11/27 ㊦ 13:00

ウクライナ戦争を考える

ロシアとウクライナの戦争が続く今、改めて観るべき映画を紹介します。

スターリンによって引き起こされたウクライナ人の歴史的な悲劇。約100年以上前の恐るべき出来事を通じて、現在の戦争を深く考えるきっかけになるのではないのでしょうか。

11/22 ㊦ 15:00★ 11/24 ㊦ 16:00 11/27 ㊦ 10:30 ★11/22(火)上映後 | 久山宏一さん(ポーランド広報文化センター)の解説トーク付

赤い闇 スターリンの冷たい大地で

Obywatel Jones

監督: アグニェシュカ・ホランド
2019年 / 英語・ウクライナ語・ロシア語・ウェールズ語 / 118分 / カラー
配給: ハビネットファントム・スタジオ

© FILM PRODUKCJA - PARK HURST - KINOROB - JONES BOY FILM - KRAKOW FESTIVAL OFFICE - STUDIO PRODUKCYJNE ORKA - KINO SWIAT - SILENSIA FILM INSTITUTE IN KATOWICE

1933年、世界恐慌の嵐が吹き荒れる中、なぜ連だけが繁栄しているのか。若き英国人記者ジョーンズはその謎を解くために単身モスクワを訪れる。監視の目をかいくぐりウクライナ行きの汽車に乗り込んだ彼が凍てつく大地で目の当たりにしたのは……。『僕を愛したふたつの国 / ヨーロッパ ヨーロッパ』、『秘密の花園』、『ソハの地下水道』などで知られる女性監督、アグニェシュカ・ホランドが手掛けた渾身の一作。

イエジー・スコリモフスキ監督の前作も上映!

イレブン・ミニッツ 11 Minut

監督: イエジー・スコリモフスキ
2015年 / ポーランド語・英語 / 81分 / カラー

© 2015 SKOPIA FILM, ELEMENT PICTURES, HBO, ORANGE POLSKA S.A., TVP S.A., TUMULT

首都ワルシャワを舞台に、17時から17時11分までのたった11分間に起こる出来事を複数の視点からモザイク状に描いたスコリモフスキ美学の最高峰。ホテルの一室でオーディションを受ける女優、異様に嫉妬深い女優の夫、さらには見ず知らずの人たちに起こるドラマが華麗な映像美で綴られ、衝撃のラストへとなだれ込む様はまさに圧巻の一言。監督の愛犬ブッフオンの名演技にも注目。第72回ヴェネチア国際映画祭のコンペティション部門に選出。

11/26 ㊦ 15:30

ジャパンプレミア **愛についての歌** Piosenki o miłości

監督: トマシュ・ハポフスキ
2021年 / ポーランド語 / 94分 / カラー+モノクロ



有名俳優を父親に持つミュージシャン、ロベルトはウエイトレスのアリツィアの歌声を聞き、たちまち魅了される。一緒に音楽を作り始め、ふたりの距離は近くなっていく……。『ONCE ダブリンの街角で』や『ピフォア・サンライズ』を彷彿させる、キュートでほろ苦い音楽ラブストーリー。若い男女の揺れる想いを端正なモノクロ映像で綴る。アリツィア役に扮するのは、本国で人気のバンド〈ダンプリングス〉のユスティナ・シフィェンス。

11/23 ㊦ 19:10 11/27 ㊦ 15:20

ヴォイチェフ・キラル 生誕90年記念上映

現代音楽・映画音楽の巨匠ヴォイチェフ・キラルがスコアを手掛けた3本の代表作

ヴォイチェフ・キラル Wojciech Kilar

1932年、ポーランド領ルヴフ(現ウクライナ・リヴィウ)生まれ。1960年代初めからクシシュトフ・ペンデレツキ、ヘンリク・グレッツキらとともにポーランド前衛音楽派、特にソノリズムと呼ばれる潮流をつくり、戦後ポーランドを代表する作曲家の一人となる。またロマン・ポランスキー監督作をはじめ多くの映画音楽を手掛け、1990年代以降はハリウッドにも進出。主な作品に『約束の土地』(1974)、『ある貴婦人の肖像』(1996)、『戦場のピアニスト』(2002)など。2013年没。





パン・タデウシュ物語

Pan Tadeusz

監督: アンジェイ・ワイダ
1999年 / ポーランド語 / 148分 / カラー

ポーランドの国民的詩人アダム・ミツケヴィチが亡命先のパリで発表した長編叙事詩をワイダが完全映像化。ナポレオンのモスクワ遠征を控えた19世紀初頭、ロシア支配下にあるリトアニアの農村を舞台に、対立する家に生まれた男女の愛と祖国への想いが壮大に描かれる。原作はポーランド・ロマン主義文学の最高傑作と称され本作も大ヒットを記録、公開時には国民の3分の1が鑑賞したと言われる。民族の誇りを高らかに謳うキラルによるポロネーズが感動的。



★11/23(水・祝)上映後 | 久山宏一さん(ポーランド広報文化センター)の解説トーク付

ドキュメンタリー映画

ポーランド広報文化センターお薦めのドキュメンタリー作品2本を紹介

ジャパンプレミア **ショパン 暗闇に囚われることなく**

Chopin. Nie boję się ciemności

監督: ヨアンナ・カチマレク
2021年 / 英語・ポーランド語・韓国語・アラビア語
58分 / カラー © Chopin. I am not afraid of darkness



世界の分断や悲劇を象徴する場所で演奏する3人のピアニストたち。韓国では北朝鮮との国境付近に架かる橋で、レバノンでは首都ベイルートの中心で、そしてポーランドではアウシュヴィツ強制収容所で奏でられるショパンの美しい音色。音楽によって人々の感情が解放され、心が癒され、夢を取り戻していく様子を追った感動のドキュメンタリー。監督はクシシュトフ・キシエロフスキ映画学校出身のヨアンナ・カチマレク。

11/22 ㊦ 10:40★ 11/26 ㊦ 11:00
★11/22(火)上映前 | ウルシュラ・オスミツカさん
(ポーランド広報文化センター所長)の挨拶があります。
★11/22(火)上映後 | 本作のプロデューサーを迎えてトークを行います。

コルチャック先生

Korczak

監督: アンジェイ・ワイダ
1990年 / ポーランド語 / 118分 / モノクロ



ユダヤ人の小児科医コルチャックは、孤児院の院長として子供たちを守り育てることに喜びを見出していた。第二次世界大戦中、ナチス占領下のワルシャワで、ユダヤ人はゲットーへの移住を命じられる。国外脱出の機会があったにも関わらず、子供たちを見棄てることが出来ないコルチャックは、恐怖に震える200人の子供たちと一緒に収容所行きの列車へ乗り込んでいく。名匠アンジェイ・ワイダ監督の人間ドラマ。抑制の効いた旋律が、人類史上類を見ない悲劇に巻き込まれた人々にそっと寄り添う。

11/24 ㊦ 13:00 11/25 ㊦ 16:30
★各回上映前に3分程度の動画解説が付きま。


ドラキュラ

Bram Stoker's Dracula

監督: フランシス・F・コッポラ
1992年 / 英語 / 128分 / カラー

© 1992 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved.

あまりに有名な吸血鬼伝説に基づいた、ブラム・ストーカーの「吸血鬼ドラキュラ」を巨匠フランシス・F・コッポラがかつてないスケールで忠実に映画化。最愛の女性を失い、神への復讐を誓ったドラキュラ伯爵の400年にわたる彷徨と闘いをキラルの荘厳な音楽が盛り上げる。ゲイリー・オールドマンを筆頭に、ウィノナ・ライダー、アンソニー・ホプキンス、キアヌ・リーブスといった豪華キャストが揃う。アカデミー賞を受賞した石岡瑛子の衣装も話題に。



11/22 ㊦ 18:30 11/23 ㊦ 14:00 11/24 ㊦ 18:30
11/25 ㊦ 10:30 11/26 ㊦ 18:00
★各回上映前に3分程度の動画解説が付きま。

ポルミッション パスポートの秘密

Polmission. Tajemnice paszportów

監督: ヤツェク・パビス
2020年 / ポーランド語 / 57分 / カラー+モノクロ



1941年から45年にかけて行われた極秘プロジェクト。それはスイス駐在のポーランド外交官アレクサンドル・ワドシとポーランド諜報機関が、南アメリカのパスポートを使って占領地のユダヤ人を救出するという決死の計画だった。危険を顧みず、信念を貫いたワドシの行動に迫るとともに、生き延びた人々とその子孫のインタビューを重ね、彼らのその後の運命を描いたドキュメンタリー。監督は俳優、作家でもあるヤツェク・パビス。

11/22 ㊦ 13:00★ 11/24 ㊦ 11:00
★11/22(火)上映後 | 杉浦綾さん(ポーランド広報文化センター)の解説トーク付